

白馬セミナーハウス紹介

井上 和男（商 48 年卒）

卒業生諸氏は「大阪市立大学白馬セミナーハウス」をご存知でしょうか・・・。
勿論、在学当時その存在が無かった学兄は別として、昭和 49 年以後の卒業生の方々はその存在をどこかで見聞されたかと思います。
在学生、教職員は勿論のこと、卒業生の方々も自由に利用できる施設です。
その存在をアピールする意味も含めて、白馬セミナーハウスの紹介をさせていただきます。

昭和 41 年、体育会が学外運動施設の必要性を痛感して、長野県白馬村に土地を購入したのがその始まりです。その後、山荘建設の為、数々の努力を重ねたが資金不足等の為数年を費やすことになった。昭和 46 年、体育会内部で山荘建設の気運が盛り上がり、資金集めや現地交渉など本部役員の懸命な努力で山荘建設の周到な準備がなされた。
こうした体育会の熱意により、大学後援会の援助を得て、昭和 48 年 11 月に完成し、「遠見山荘」と名付けられた。

その後、利用者の増加とともに手狭となり、毎年施設の不備を訴えていたところ、大学当局の理解が得られ、増築の予算を獲得することができた。こうして昭和 52 年 12 月、念願の増築工事が完成し、名称も「白馬セミナーハウス」と改め、名実ともに立派な学外施設となった。

白馬セミナーハウスは北アルプス山麓の五竜遠見尾根の上り口に位置し、大糸線神城駅より徒歩 10 分位の所にあります。
当地は白馬岳をはじめ五竜、唐松、鹿島槍ヶ岳等の名峰を望み、近くには仁科三湖（青木湖、中綱湖、木崎湖）が満々と清水をたたえています。夏期は風光明媚で涼しく、勉学に、避暑に格好の場所です。スキー、スノーボードで有名な白馬五竜スキー場へは徒歩 8 分位で、その他、八方尾根スキー場、梅池スキー場等名だたるスキー場も近くにあります。
また、春は残雪の中のお花畑や山菜取り、秋には燃えるような紅葉やきのこ狩りと、四季おりおりに楽しむことができます。
スキーに、避暑に、山行に、卒業生諸氏も気兼ねなくご利用下さい。

セミナーハウスを管理運営しています小生について少し記しておきます。
市大在学当時は大学紛争真っ只中で全学封鎖やセクト同士の対立、内ゲバが繰り返される混沌とした時代でした。その中で体育会本部役員（幹事長）として各クラブの世話をすると共に、山荘建設の責任者としてその活動に没頭していました。
昭和 48 年 3 月、「今年の雪解けとともに建設着工」という段取りを終えて卒業し、企業に勤める社会人となったものの、その願い忘れられずと言ったところでした。

翌年、一念発起し勤務先を退職、そして長野県白馬村に居を移し山荘運営を任され 30 数年
が経ち、今に至っています。

現在、学生教職員の課外活動の拠点として利用されるだけでなく、卒業生の親睦の場と
しても貴重な存在となっています。

白馬セミナーハウスの使用申込みは学生支援課' (06-6605-2103) で受付しています。

(使用料 1 泊、本学学生、教職員 1500 円、 卒業生、その他 2200 円)

大阪市立大学白馬セミナーハウス

399-9211 長野県北安曇郡白馬村神城 22203

Tel. 0261-75-2931